

北上市憩いの森「春の緑化まつり」で木工体験大賑わい

1 はじめに

4月9日(日)、北上市憩いの森で公益社団法人岩手県緑化推進委員会北上支部と北上市森林組合が主催する「春の緑化まつり」が開催されました。展勝地の花見の混雑を避けるため例年あえてこの時期に開催しています。まつりでは花巻農林振興センター林業振興課職員の指導による木工体験が主要イベントになっており、毎年楽しみにしている方も多数いるとのこと。当日も10時の開会式を待たずに参加希望者が訪れ始め、木工体験をスタートしました。

2 体験内容

今回参加者のミッションは「木製マガジンラック・プランターカバー受け」を作るというもので、3枚の板材から12個のパーツを切り出し、釘打ちして作品を仕上げる作業です。

見た目にはシンプルで誰にでもすぐに出来そうな物ですが、日常生活で鋸や金槌を使うことがなくなった子供のみならず大人にとっても結構手ごわい作業だったようです。

3 作業風景

当初午前、午後各20組を予定していましたが、午前の一時期に参加者が集中し、職員3名では目が届かないほどの大盛況となりました。

子供を連れた女性の参加者の中には、鋸引きは何とかクリア出来たものの、釘打ちになると手が止まってしまう、曲がった釘を抜こうと悪戦苦闘して汗を流す人もおりました。

しかし、作品が仕上がるとどなたも一様に安堵と満足感に包まれた笑顔でお帰りになりました。今回37組の参加があり、どなたも事故なく最後まで作品を仕上げてくださいました。

4 普及の視点

木工は林業体験の一つとしてよく取り入れられますが、今回は林業普及の視点を意識し、木取の際の留意点として節を避けること、鋸には立引、横引歯が有りいずれも引くときに切れること等、木の質や道具の使い方等を説明しながらより安全に作業ができるような指導を心がけました。今後も市民目線の林業普及を心掛けたいと思います。



右の台に完成見本があります

